



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年1月11日

上場会社名 株式会社FIXER 上場取引所 東
コード番号 5129 URL <https://www.fixer.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 清一
問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 磐前 豪 (TEL) 03(3455)7755
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の業績(2023年9月1日~2023年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	1,966	△43.4	125	△85.6	125	△85.1	81	△84.8
2023年8月期第1四半期	3,475	—	865	—	843	—	537	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	5.54	5.18
2023年8月期第1四半期	37.95	34.84

- (注) 1. 2022年8月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年8月期第1四半期の対前年同四半期の増減率については記載しておりません。
2. 2023年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が2022年10月6日に東京証券取引グロース市場に上場したため、新規上場日から前第1四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	6,811	5,801	85.1
2023年8月期	7,140	5,718	80.1

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 5,799百万円 2023年8月期 5,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,767	△41.8	171	△88.9	173	△88.6	110	△88.4	7.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年8月期1Q	14,763,000株	2023年8月期	14,753,400株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年8月期1Q	35株	2023年8月期	35株
------------	-----	----------	-----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年8月期1Q	14,762,965株	2023年8月期1Q	14,166,000株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期財務諸表に掲載される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期会計期間及び当第1四半期累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前事業年度及び前第1四半期累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（自 2023年9月1日 至 2023年11月30日）における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進み、景気の緩やかな回復傾向が継続しております。一方で、世界的な物価の上昇に加え欧米各国との金利差を背景に円安が進行したことで、輸入品を中心に物価の上昇が継続しており、景気の先行きは楽観ができない状況です。

当社が属する国内の情報サービス産業においては、労働人口の減少傾向や業務効率化ニーズを背景に、デジタル化の推進ニーズは旺盛です。また、生成AIの劇的な進化によりDX（デジタルトランスフォーメーション）への期待は一段と高まっております。

このような環境下、当社はクラウドネイティブカンパニーとして、「日本のエンタープライズシステムにグローバル品質のクラウドパワーを」をミッションに掲げ、世界一クラウドネイティブなシステム開発力と、最高位パートナー認定「Azure Expert MSP」のマネージドサービスを通じて、日本のDXの加速に取り組んでまいりました。また、当社は生成AIの大きな進化を成長に活かすべく、大幅な事業変革に取り組んでおります。具体的にはエンタープライズ向けAGIプラットフォーム「GaiXer」の拡販活動や実証実験を行い、導入顧客へ既存システムのクラウド化を提案する等、生成AIの進化をDXの加速に繋げる活動を行っております。また、「GaiXer」の性能強化やマルチクラウド化に取り組む等、将来の成長に向けた活動に注力しております。

ビジネスモデル別では、プロジェクト型サービスが売上高416百万円（前年同四半期比51.9%減、上期計画進捗率60.5%）、リセールは売上高1,206百万円（前年同四半期比0.6%増、上期計画進捗率52.5%）、マネージドサービスは売上高327百万円（前年同四半期比15.1%減、上期計画進捗率44.6%）、SaaS売上高14百万円（前年同四半期比98.5%減、上期計画進捗率34.7%）となりました。プロジェクト型サービスでは、大型のAWS移行案件がプロジェクト後半に入り規模が縮小する等、プロジェクト端境期に入りました。SaaSでは、健康観察に使用されていた自動架電の利用が大幅に減少しましたが、「GaiXer」の導入が順調に進むなど事業変革の成果が表れ始めております。成長投資を継続していることから、販売費及び一般管理費は78百万円増加（19.7%増）となりました。

以上の結果、売上高1,966百万円（前年同期比43.4%減）、売上総利益600百万円（前年同期比52.5%減）、営業利益125百万円（前年同期比85.6%減）、経常利益125百万円（前年同期比85.1%減）、四半期純利益81百万円（前年同期比84.8%減）となりました。なお、上期計画に対する進捗率は売上高52.2%、売上総利益50.6%、営業利益73.1%、経常利益72.5%、四半期純利益74.4%と順調に推移しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は6,811百万円となり、前事業年度末に比べて328百万円減少しました。これは主に、売掛金及び契約資産が175百万円増加した一方で、現金及び預金が441百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は1,010百万円となり、前事業年度末に比べて411百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が216百万円、流動負債のその他が100百万円減少したことによるものであります。流動負債のその他の減少は、主に未払費用が95百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は5,801百万円となり、前事業年度末に比べて82百万円増加しました。これは主に、四半期純利益81百万円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期において、売上高の56.2%を占める厚生労働省との契約は2024年3月末までは締結済みですが、4月以降の契約については省庁の予算スケジュール上受注を確定できない状況であり、現時点で蓋然性の高い計画を開示することが難しい状況です。このため、2024年8月期につきましては蓋然性が高い第2四半期までの計画を開示させていただきます、通期の状況が明確になった時点で、通期計画を開示させていただきます。

ビジネスモデル別売上高は、プロジェクト型サービスが689百万円（前年同期比56.1%減）、リセールが2,299百万円（前年同期比2.4%減）、マネージドサービスが735百万円（前年同期比11.6%減）、SaaSが43百万円（前年同期比97.5%減）を見込んでおります。

2022年8月期のような非連続な成長を再度実現すべく、第2四半期までの期間において積極的な営業活動を実施する方針です。具体的には、ストック売上であるリセールやマネージドサービスの積み上げに繋がるプロジェクト型サービスの獲得活動を強化していく方針です。更に、当社が次の成長の柱になると期待している生成AI技術を活用したエンタープライズ向けサービスであるGaiXerの営業体制強化や、積極的なマーケティング活動の実施等の長期投資を強化してまいります。このため販売費及び一般管理費は1,014百万円（前年同期比30.5%増）を計画しております。

以上の結果、2024年8月期第2四半期の売上高は3,767百万円（前年同期比41.8%減）、営業利益は171百万円（前年同期比88.9%減）、経常利益は173百万円（前年同期比88.6%減）、四半期純利益は110百万円（前年同期比88.4%減）を計画しております。

なお、業績予想などの将来予測情報につきましては、現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の実績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,837	4,395
売掛金及び契約資産	1,338	1,514
その他	149	146
流動資産合計	6,325	6,056
固定資産		
有形固定資産	276	266
投資その他の資産	538	487
固定資産合計	815	754
資産合計	7,140	6,811
負債の部		
流動負債		
買掛金	591	580
1年内返済予定の長期借入金	20	10
未払法人税等	228	12
賞与引当金	112	55
役員賞与引当金	14	—
その他	436	335
流動負債合計	1,404	994
固定負債		
長期借入金	17	15
固定負債合計	17	15
負債合計	1,421	1,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,212	1,213
資本剰余金	1,177	1,178
利益剰余金	3,326	3,408
自己株式	△0	△0
株主資本合計	5,717	5,799
新株予約権	1	1
純資産合計	5,718	5,801
負債純資産合計	7,140	6,811

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	3,475	1,966
売上原価	2,213	1,366
売上総利益	1,262	600
販売費及び一般管理費	396	474
営業利益	865	125
営業外収益		
受取利息	0	0
雑収入	0	0
営業外収益合計	0	0
営業外費用		
支払利息	0	0
上場関連費用	7	—
株式交付費	11	—
為替差損	2	0
営業外費用合計	22	0
経常利益	843	125
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	—	1
税引前四半期純利益	843	127
法人税等	306	45
四半期純利益	537	81

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。